



# 患者支援NEWS

## 特集：放射線科

### 診療放射線技師の活躍

## 西大宮病院のラジエーションハウスをご紹介します

診療放射線技師の主な仕事は、医師の指示のもとで、X線、CT、MRIなどの画像診断装置を使用して、患者様の体内を詳細に観察する為の画像を提供することです。患者様が検査を受けられる時に、よくされる質問で「最近、よくレントゲンを撮っているので、被ばくが心配。」という声をよく耳にします。

私達は普段生活をするだけでも、自然放射線を浴びている事をご存じですか？その量は1年間で平均2.1mSvですが、胸部レントゲン1回の被ばく量は約0.06mSvとなり、非常に少ない被ばく量で検査を行っています。比較的被ばくの多いCTでも、当院のCT装置は画質を維持したままで大幅に被ばくを低減する事ができ、患者様にできるだけ安心して検査を受けられる環境をスタッフ一同で努めています。検査に対する質問等あれば、スタッフにお申し出ください。



2024年6月より本棟MRI装置が更新されました。  
新しいMRI装置には、AI機能が導入されています。AIを駆使することにより、画質の向上や検査時間の短縮が可能となりました。

新しい装置で、清潔感あふれる環境の中で、患者様に負担の少ない検査が受けられるようにスタッフ一同、取り組んで参ります。



## トピックス

### ●市民公開講座のご案内

第2回 市民公開講座の開催を予定しております。事前申込不要ですのでお気軽にご参加ください。

開催日：2025年9月22日(月)14:00-15:30 (13:30受付開始)

場所：本棟3階 会議室

講師：澤野宗顕 (眼科 医師) 他